

2017年4月3日

トヨタ車体、2017年度入社式を実施

トヨタ車体株式会社（本社：愛知県刈谷市 取締役社長：増井 敬二）は、本日午前10時30分からトヨタ車体 富士松体育館において、新入社員280人（事務職25人、技術職86人、技能職169人）の入社式を行いました。

入社式での社長あいさつ（要旨）は以下のとおりです。

【社長あいさつ（要旨）】

当社は2016年4月に、トヨタ自動車の「もっといいクルマづくり」に向けた組織変更により、5つある車両カンパニーの中で、ミニバン・商用車・SUVを担当するCV Companyの中核を担うことになりました。現在、当社が開発から生産まで担当するミニバン、商用車、SUVを中心とした7車種は、年間72万台を生産しており、これはトヨタ国内生産の約4分の1にあたります。今後は、当社で生産するクルマに加え、トヨタやトヨタの海外子会社が生産するミニバン・商用車・SUVの開発や生産支援も当社が責任を持つこととなります。今まで以上にグローバル生産車種、海外専用車種の企画から開発・生産準備を担う会社へと変わっていきます。これらの役割を果たすために、トヨタ自動車との人材交流を積極的に進め、一貫したクルマづくりができる力を磨いています。新入社員のみなさんの力も必要になってきます。そこで、みなさんをお願いしたいことを3つお伝えします。

【期待すること】

1つ目は「チャレンジすることを恐れない」ということです。失敗することは、決していけないことではありません。一番いけないことは、チャレンジしないことです。若い皆さんにも、どんどんバッターボックスに立って、積極的にバットを振って欲しいと思います。その結果が三振でも構いません。一度空振りしても、またバッターボックスに立ち、何度でもバットを振ってください。チャレンジしたこと自体が評価されるような会社になりたいと思います。

2つ目は「自分の思いを自分の言葉で伝える」ということです。私自身、人の話をきちんと聞くということを心掛けてきました。役職や年齢にこだわらず、コミュニケーションをしっかりと取ることによって人間関係が深まり、最終的には風通しの良い組織や会社を作ると信じています。皆さんの新鮮で素直な思いを自分の言葉で職場の人達に伝えて下さい。

3つ目は「感謝と謙虚な気持ちを忘れない」ということです。これまで支えていただいたご家族や多くの人達への感謝と謙虚な気持ちを忘れないで欲しいと思います。そして、これからの社会人生活においても、周りにいる人達と支えあう関係を作ることによって、お互いの成長に繋がります。困った時に気軽に相談できる親友を見つけ、お互いが感謝し合える関係をつくってください。

皆さんのこれからの活躍を心から楽しみにしています。一緒にがんばりましょう。

以上

